

360度カメラ付き 高画質ドライブレコーダー 取扱説明書

Car-076 Car-077



輸入元：ベスト・アンサー株式会社
650-0045 神戸市中央区港島6-8-2SRC8F
より良いものを、よりやすく、よりスピーディーに
TEL： 078-381-9689（平日 10:00~17:00）
メール：info@bestanswer.jp



目次

はじめに（※重要）	P3
安全上の注意	P3
各部品の名称	P4
セット内容の確認	P4
配線の取り付け前に設定を行いましょう	P5
※常時録画	P6
※Gセンサー	P7
※スクリーンセーバー	P8
※時間設定	P9
※システム再設定 Format（フォーマット）	P9
設定など完了してからSDカードをセットしましょう	P10
取り付け準備・取り付け方	P12
録画・撮影する	P15
駐車監視モード	P18
エコ監視	P19
録画・撮影した映像の確認	P20
よくある質問	P23
保証書	P26

はじめに（※重要）：

このたびは、当社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになってから、正しくお使いください。本書は大切に保管してください。

ご使用時の注意事項

- 本製品は精密機器です。強い衝撃を加えたり、落下させたりしないでください。過度の衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が長時間当たる場所での使用や保管は避けてください。
- 防水、防塵仕様ではないので、温度、湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や直射日光が長時間あたる場所、静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- 内蔵充電電池の液漏れ、破裂、感電、故障、火災の原因となります。

安全上の注意：

- 運転中に操作（視聴）をしないで下さい。
- 発煙、異音、異臭などが発生した場合は直ちに使用を中止してください。事故や火災の原因となります。
- エアバックや運転などの安全上の妨げにならないように使用して下さい。
- ご使用前に付属の取り扱い説明書を熟読し、機器の知識・安全上の注意事項について習熟してから正しくご使用ください。
- 本製品の付属品はすべて専用部品ですので代用品の使用や改造等すると事故につながりますのでご注意ください。
- 本製品は電磁波を発生する場合があります。
- 本製品は高温の状態では長時間使用すると低温やけどを起こす可能性がありますのでご注意ください。
※長時間使用後はしばらく時間を置いてからご利用ください。
- 本製品は常時記録型の映像を記録する装置ですが全ての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
- 本製品を取り付けたことにより車両・車載品の故障・事故等などの損害について弊社は一切その責任を負いません。
- 商品の仕様・外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
- 写真はイメージであり、実際と異なる場合がございますので予めご了承下さい。
- 本機は DC12/24V マイナスアース車専用です。これ以外のお車にはご使用いただけません。火災や事故の原因となります。

2、各部名称



- | | |
|------------------|---|
| ① USB 給電口 | DC アダプターと接続して本体へ給電します。 |
| ② バックカメラ入力端子 | バックカメラの延長コードの接続口 |
| ③ マイクロ SD カード挿入口 | マイクロ SD カードを挿入して録画します。 |
| ④ 使用しません | |
| ⑤ 取り付ステー挿入口 | 取り付両面テープステーの挿入口 |
| ⑥ リセットボタン | ドライブレコーダーが起動しない、異常がある時
リセットを押すと回復されます。
※マイクロ SD カードを抜いてからリセットをかけてください。
軽く押すとスクリーンセーバーの ON/OFF 可能
長押しすると本体電源 ON/OFF ができます。 |
| ⑦ 電源ボタン | |
| ⑧ 360度カメラレンズ | 録画モードによってカメラの向きを変えられます。 |
| ⑨ タッチパネル | 設定する場合、パネルをタッチして操作できます。 |

3、セット内容の確認

お取り付け前にセット内容が不足していないかご確認ください。

- 1、ドライブレコーダー本体 2、充電コード 3、両面テープスタンド



- 4、バックカメラとバックカメラ延長コード

- 5、日本語取扱説明書



※バックカメラは画素数によって形が異なります。

配線の取り付け前に設定を行いましょう

車のエンジンをかけてから、充電コードを車のシガーソケットに差し込み、ドライブレコーダー本体のUSB口に接続してください。そうするとドライブレコーダーの電源が自動的に入り約30秒後に液晶画面が表示されます。

※先にSDカードを挿入しないでください。

液晶画面をタッチ⇒液晶画面の下側に下記のようなマークが表示されます。
それぞれのマークをタッチすると操作できます。



①

②

③

④

⑤

⑥

- | | |
|----------|--|
| ①デオマーク | タッチすると録画を開始します。再度タッチすると録画を終了します。 |
| ②カメラマーク | タッチすると静止画を撮影します。 |
| ③再生マーク | タッチすると録画ファイルを確認します。 |
| ④設定マーク | タッチすると設定画面に入ります。 |
| ⑤撮影設定マーク | タッチすると撮影画面の表示方法を設定します。 |
| ⑥音声録音 | タッチすると音声の録音の ON/OFF ができます。
OFF の場合/オレンジ色になって斜め/が入ります。 |

●記録設定：

④  設定マークをタッチします。

(オレンジ色になっている部分は設定している項目です。)



○常時録画

録画ファイルのサイクル時間を設定します。1分/2分/5分から選択
選択したサイクルの録画時間は録画中にビデオマークに数字が表示されます。
2分を選んだ場合、録画ファイルは2分毎に保存されます。
2分を選択した場合、録画中はビデオマークに **2** が表示されます。

※ (SDカード挿入時)



○ Gセンサー

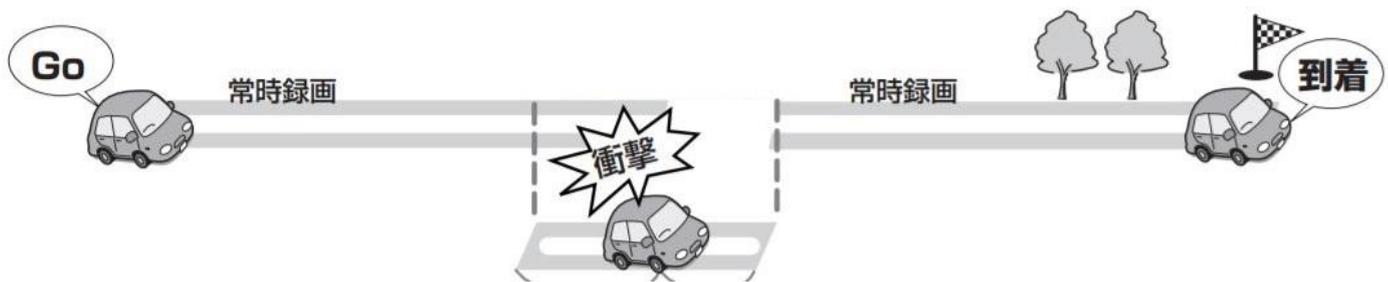
撮影中に車が衝撃を感知するとその録画ファイルを自動でロックをかけ上書きされないようにします。

衝撃検知後に約 10 秒間の映像を録画し保護します。

ロー : ミドルより衝撃を感知しにくい

ミドル : 標準設定

ハイ : ミドルより衝撃を感知しやすい



衝撃検知後約 10 秒間の映像を録画し保護します。

※衝撃感知で録画された映像は自動で保護され SD カードのストレージが一杯になっても上書きされません。

※ロックがかかるファイルが溜まるとSDカードストレージがいっぱいになる原因となります。

※ストレージがいっぱいですというメッセージが出た場合は、確認をタッチしフォーマットを行ってください。(システム設定のフォーマットを参考にしてください。)

○周波数

50Hz/60Hz をタッチして選択します。

※参考：日本の周波数は、およそ、富士川（静岡県）と糸魚川（新潟県）を境に東側は 50 回（50Hz＝ヘルツ）、西側が 60 回（60Hz＝ヘルツ）となっています。ただし、境界付近には「50Hz」と「60Hz」の混在地区もございますのでご注意ください。

○音声録音

録画時に音声の録音を行うかどうかを設定します。

※ON なら音声を録音します。

○バックカメラ鏡像

※バックカメラを接続する場合の設定項目です。

バックカメラの映像は液晶画面の右真ん中に表示されます。
ONにするとバックカメラの映像を鏡像で（左右反転）表示させます。
基本はONに設定します。
※モニターで見る場合右にあるものは画面の右真ん中にあります。
再生動画を確認するときは左右反転になります。

○スクリーンセーバー

録画中に液晶画面を表示させるかどうかを設定することができます。
設定したい時間をタッチし、設定を確定してください。
1分/2分/5分/オフに設定すると設定した時間が経過すると液晶画面が消えますが録画はそのまま行われます。
オフに設定すると液晶画面が常時表示されます。

※ドライブレコーダーの本体背面にある電源ボタンをクリックすることにより手動で液晶画面表示のON/OFFも可能です。

●システム設定

システムをタッチすると下記の内容を設定できます。



○言語設定

表示言語を設定します。

○明度設定

液晶画面の明るさを調整します。
●を押しながら左右を移動します。

○音声設定

音量の設定を変更します。
●を押しながら左右を移動します。

○時間設定

日付をタッチし数字をスライドして年月日を設定し確定をタッチしてください。
時間をタッチし数字をスライドして時間を設定して確定してください。これで日付設定は完了です。

○システム再設定

Format：(フォーマット)

SDカードをフォーマットします。
SDカードのデータをすべて削除することができます。
手順：フォーマットをタッチします。→確定をタッチします。フォーマット中と表示され、完了しましたら、表示が消え設定画面に戻ります。
SDカードはデータの記録が繰り返されると録画可能時間が減少したりデータの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。安定してお使いいただくために1～2週間に一度SDカードのフォーマットを行ってください。
SDカードのストレージがいっぱいやエラーメッセージが出た場合はフォーマットすることによって解決されます。
フォーマットするとSDカードにあるデータがすべて消えますので大切なデータがある場合はパソコンなどへ移してから行ってください。
※マイクロSDカードは、使用前に必ずフォーマットするようにしてください。
フォーマットしないと正常に録画できない場合があります。
※フォーマットしてもエラーになる場合、新しいカードにて試してください。

リセット：

ドライブレコーダーの設定を出荷時の状態に戻します。

※ファームウェア：

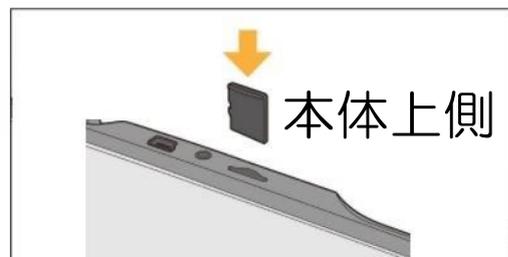
製品の生産ロット番号となります。

設定などを完了してからSDカードをセットしましょう

※本製品はマイクロSDカード（別売）が必要です。

※本体上部のマイクロSDカード挿入口にSDカードの向きに注意し爪先でカチッと音がするまで確実に奥まで差し込んでください。

※ドライブレコーダーの液晶画面からSDカードが印字されている面にあわせ差し込んでください。



使用可能な SD カード	
SD スピードクラス	SD カード容量
CLASS 1 0	8G ~ 32G
SD スピードクラスとは SD 機器と SD カードとの転送速度の最低限を保証する	



※同じレベルのSDカードもいろんなランクがありますので、正規メーカー品の製品をお勧めいたします。

推薦メーカー：サンデスク

※SDカードを取り出す際はカードをカチッと音がするまで押し込みカードが少し出たらゆっくりと引き抜いてください。

※すべてのファイル（動画、写真、音声）がマイクロSDカードに保存されます。

※マイクロSDカードは最大32GBまで対応しています。対応は8～32GBになります。SDカードはCLASS 10の製品を推奨します。

※マイクロSDカードの抜き差しは必ずドライブレコーダーの電源を切った状態で行ってください。データが消えたり破損したりする可能性があります。

※マイクロSDカードを差し直した場合は反応するまでに30秒ほど時間かかることがあります。

※SDカードの上書きは約500回程度になります。500回を超えても使用は可能ですがSDカードの内部は少しずつ損傷していきます。録画データを定期的に確認し早めにご交換ください。

※長時間の使用によりメモリーカードが高温になった場合は直接手で触れないでく

ださい。火傷やケガの原因となります。

※油がついた手や濡れた手でメモリーカードを触らないでください。損傷、故障の原因となります。

※マイクロSDカードには相性がございます。万が一認識しなかったり録画がフリーズしたりする場合は別のSDカードをお試しく下さい。画面をタッチして反応が遅かったりする場合もマイクロSDカードを交換してください。

※マイクロSDカードが破損すると録画がしたり、しなかったりします。必ず定期的に録画状況を確認し、録画の漏れがあった場合、迅速にカードを交換してください。

※使用したことがあるSDカードを利用する場合は必ずフォーマットしてからお使いください。認識されない場合はパソコンにてフォーマットを行ってからお試しください。

※フォーマットを行うとSDカードにあるデータが全て消えてしまいますので大切なデータがある場合はパソコンなどへ移してから行ってください。

※SDカードはデータの記録が繰り返されると録画可能時間が減少したりデータの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。安定してお使いいただくために1～2週間に一度SDカードのフォーマットを行ってください。

※ドライブレコーダーが急に使えなくなった場合、SDカードを抜き、本体のリセットを行い、電源を入れ直し録画以外の機能が正常に作動するかどうかを確認してください。SDカードなしの状態でも正常に作動する場合SDカードに不具合がある可能性があります。

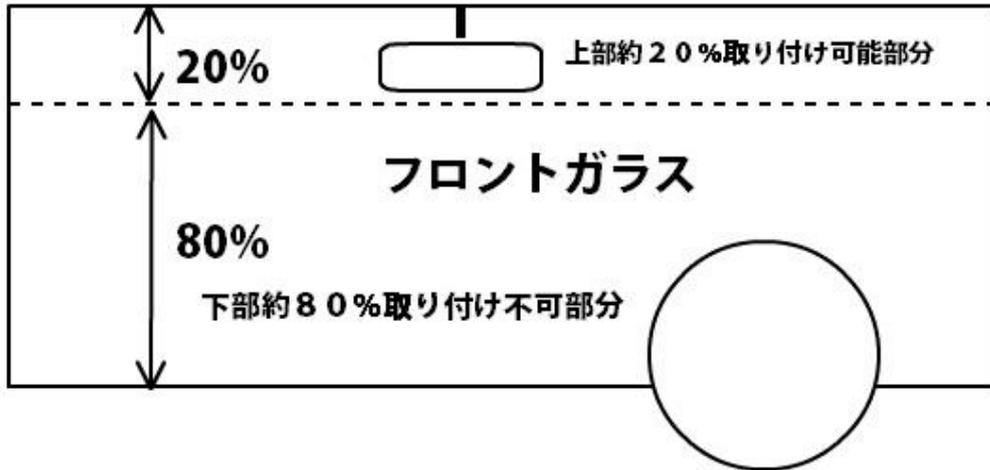
※SDカードは消耗品ですので、長期間ご使用になると不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーの原因になり使用ができない場合があります。SDカードの消耗による損傷について弊社は一切責任を負いません。

※本機をご使用中にデータが消失した場合でもデータ等の保証について弊社は一切その責任を負いません。

取付け準備・取り付け方

●取り付け位置を確認する

温度湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や直射日光が長時間あたる場所 静電気の発生しやすい場所 ホコリの多い場所には置かないでください。内蔵電池の液漏れ・破裂・感電・故障の原因となります。



※固定する前に接地面のほこりや汚れを必ず取り除いて下さい。ほこりが少しでも残っていると振動などで外れ本製品の破損や事故ケガの原因になる場合があります。

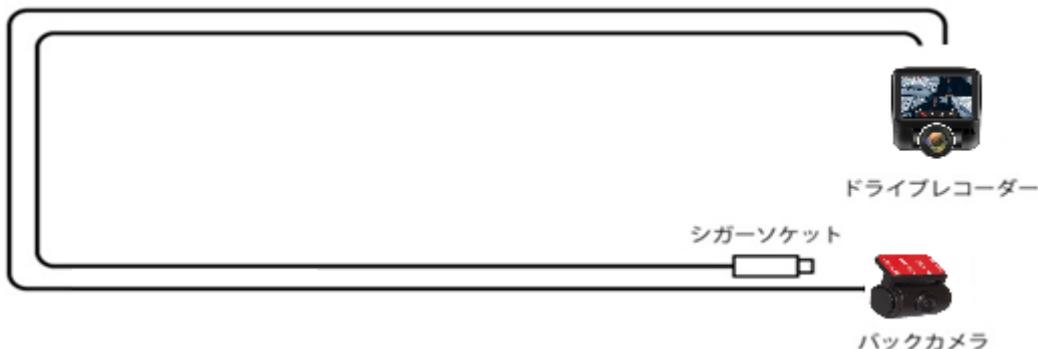
* 誤った取付けは道路運送車両法の保安基準に違反するおそれがあります。

注意

- ・ 運転時の視界や操作を妨げないでください。
- ・ ルームミラーやエアバッグの動作を妨げないでください。
- ・ フロントガラスの上部20%の範囲内に貼り付けしてください。
- ・ ガラスにプリントされている熱線やアンテナなどにマウントの貼付け面が重ならないようにしてください。
- ・ 安全運転支援システムなどのカメラを装着している場合は、その撮影範囲内に映り込まないように設置してください。

●ドライブレコーダーを取り付ける

配線の簡易図面：



(1) シガー電源ケーブルを接続する

付属のシガー電源ケーブルのUSB 端子をドライブレコーダー本体上部にある USB 接続口に差し込んでください。

※バックカメラも取り付ける場合はバックカメラの延長コードをドライブレコーダー本体の上部にある接続口に差し込んでください。

(2) 本体に両面テープスタンドを装着する

ドライブレコーダー本体と両面テープスタンドのスライドレール部の凹凸を合わせ奥までスライドさせます。



(3) 取付け位置をきれいにしてフロントガラスに貼りつける

取付け面の汚れ、油分を中性洗剤でよく拭き取り水拭きをした後に乾いた布で拭き取ります。

※両面テープスタンドを貼り付ける前によく角度や視野を確認し他の部品に当たらないようご注意ください。

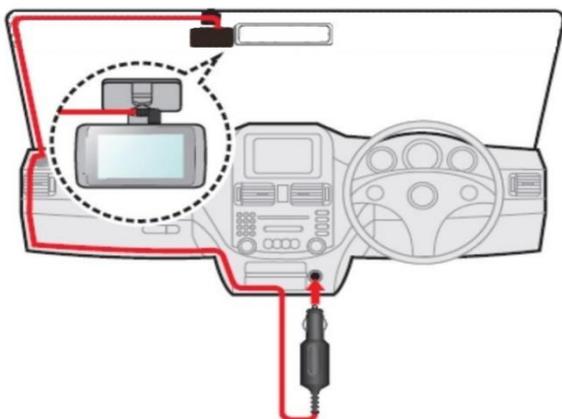
※一度取り付けると外せないなので、取り付ける前、位置と角度などよくご確認されてから取り付けてください。

※両面テープの剥離紙を剥がして取り付けステーをガラス面に貼り付け、ステーの角度を調整しネジを固定してください。

(4) 電源ケーブルを取り回す

ドライブレコーダー本体をフロントガラスに取り付けた後に市販のケーブルフックなどを使いシガー電源ケーブルの配線进行处理していきます。

●配線例



※イラストはあくまでも一例です。

お客様の車種に合わせて配線してください。

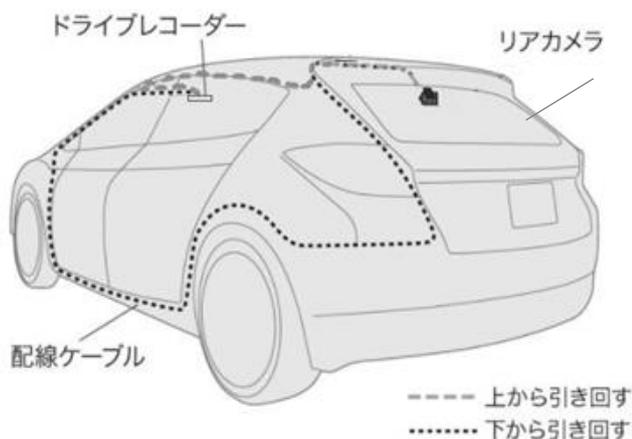
※ドアなどを開閉しケーブルが挟まれないかを確認してください。

(5) バックカメラを取り付ける

付属のバックカメラを本体と接続することで後方の映像を確認・録画することができます。

- 1、延長コードのピンチャック側をドライブレコーダー本体 AV-IN へ差し込みます。
- 2、延長コードのUSB 側をバックカメラの本体の接続口に差し込んでください。
- 3、付属のバックカメラを両面テープの剥離紙を剥がし、取り付けます。
※バックカメラの本体と台座が外れます。セットしてお使いください。
- 4、バックカメラを固定した後にバックカメラケーブルを市販のケーブルフックなどで配線処理していきます。
※バックカメラの電源はドライブレコーダー本体から常時供給されます。
※車内配線を行いながら後部ガラスの上面にカメラを設置し上下の角度をモニターの確認をしながら合わせます。

●配線例



※イラストはあくまでも一例です。

お客様の車種に合わせて配線してください。

※ドアなどを開閉しケーブルが挟まれないかを確認してください。配線が破損されると湿気や水が入り、破損の原因となります。

※車内の内装、ピラーの外し方は各自動車メーカーにご相談ください。

※車種によって指定の位置に取り付けできない場合があります。

※取り付け位置によって太陽光などの光反射の影響を受けやすくなる場合があります、適切な位置を確認しながら取り付けを行ってください。

・バックカメラ映像は別枠で表示されタッチすると全画面で表示することができます。

※使用上の注意

車のバック時にはモニターだけに頼らず背後周辺の人物等にも十分に注意をして必ず直視にて後方安全確認を行ってください。

運転中の事故等の責任は一切負いかねますのでお客様自身で安全運転を心掛けて下さい。

(6) エンジン始動後カメラの角度を調節する

エンジン始動後に30秒ほどで録画面面に切り替わりますので画面の映像を見ながらカメラの角度を調節してください。

※お好みに合わせて角度を調節してください。

これで取り付けが完了です。

録画・撮影する

●動画撮影モードで撮る

①エンジンをかけ電源をONにする

エンジンをかけるとドライブレコーダーの電源が自動でONになり30秒ほどたつと録画できる画面になります。

②自動録画する

自動録画モードをONにしている設定の場合、録画面面になると自動的に録画が始まります。

録画中は、液晶画面の左上側に表示されている日付の隣のREC【●】が点滅します。

動画撮影モードでは下記の4つの録画機能が使えます。

- ・録画データは球面モードで録画され保存されます。

ワイドアングルモード

球面モード

フロント&バックモード

マルチウインドウモード



SDカードには録画機能ごとにフォルダが作られ録画・撮影されたファイルは各フォルダに自動で振り分けられて記録されます。

■手動録画(保存フォルダ：A)

ドライブレコーダーのビデオマークをタッチすると手動で録画を開始/終了することができます。microSD カードの容量が一杯になると自動的に古いファイルから上書き保存されます。

■衝撃感知録画（Gセンサー）（ファイル名に SOS）

衝撃検知後 約 10 秒間の映像を記録保護します。

衝撃感知で録画された映像は自動で保護され SD カードのストレージがいっぱいになっても上書きされません。※SDカード容量不足の原因になります。

■エコ監視(ファイル名に CCTV)

駐車中にエコ監視を設定すると、駐車中にずっと 1 秒間 1 フレームを録画します。

■静止画撮影(保存フォルダ：Pic)

レコーダー本体の静止画撮影ボタンを押すと静止画を 1 枚撮影します。

SD カードの容量が一杯になると静止画撮影はできません。

■常時録画(保存フォルダ：ドライブレコーダー本体は A、バックカメラは B)

エンジンをかけてから切るまで連続で録画し続けます。

録画時間を設定から 1 分・2 分・5 分と切り替えることができます。

microSD カードの容量が一杯になると自動的に古いファイルから上書き保存されます。

③エンジンを切り、電源を OFF にする

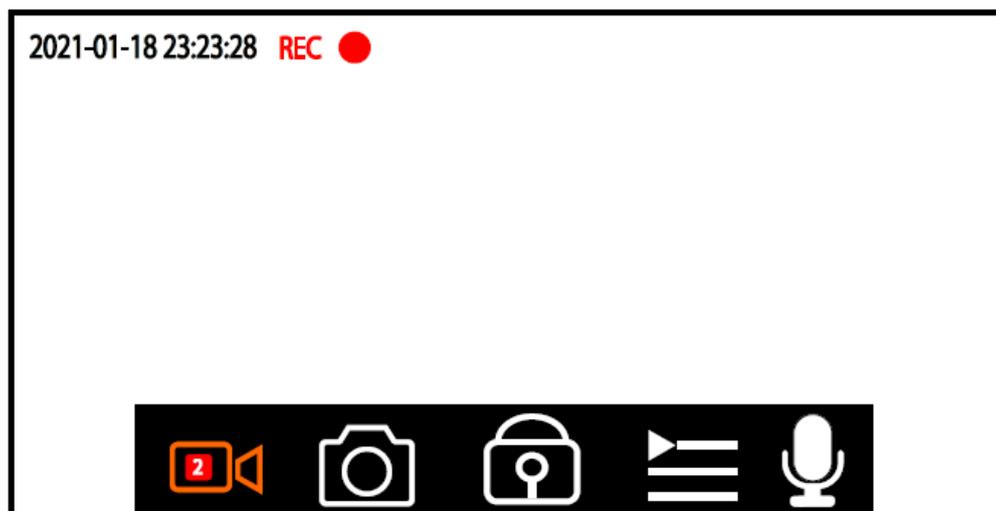
車のエンジンを切ると、ドライブレコーダーの電源が自動で OFF になります。

●液晶初期画面操作について（液晶画面のマークをタッチすることで設定できます）

①録画停止時に表示するマーク



②動画録画中の操作画面



1 2 3 4 5

動画を撮影している間は記録したデータの再生や本体の各種設定操作を行うことはできません。

設定変更やデータの再生を行う場合はビデオマークをタッチして一度録画を停止した状態で行ってください。

1、動画撮影

動画撮影の ON/OFF

2、静止画撮影

静止画を 1 枚撮影します

3、ロック

手動で現在録画中のデータを上書きしないようにロックをかけます。

タッチすると液晶画面の左上側にある【●】の右に【●SOS】が表示されます。

4、カメラモード変更

360度カメラモードの変更を行います各種設定の変更を行います

5、音声録音

タッチすると音声の録音の ON/OFF ができます。

OFF の場合/オレンジ色になって斜め/が入ります。

●カメラモードの変更

メイン画面・動画録画中の操作画面でカメラモード変更ボタンをおすと 4 種類のカメラモードに切り替えることができます。

・録画データは球面モードで録画され保存されます。

ワイドアングルモード 球面モード フロント&バックモード マルチウインドウ

モード

●**駐車監視モード**

使用するには常時電源供給ケーブル(別売り)が必要です

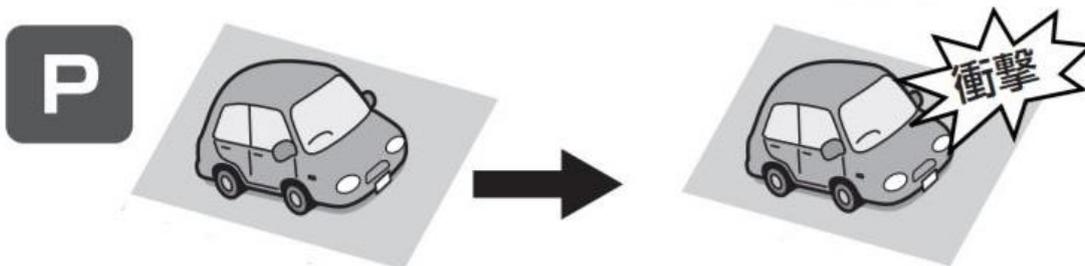
①**エンジンを切る**

電源が切れる際【電源オフ/駐車監視/エコ監視/取消】と表示されるので【駐車監視】をタッチしてください。タッチしたら、駐車監視がオレンジ色になります。



■**駐車監視録画**(保存フォルダ：SOS)

車体の衝撃や振動を感知し数秒後に録画が開始されます。



・保存されたデータは上書き保存されないようにロックがかかりファイル名に「SOS」と入ります。

※ロックがかかるファイルが溜まるとSDカードストレージがいっぱいになる原因となります。その場合はSDカードをフォーマットするようにしてください。

※駐車監視モード時はバックカメラの映像は保存されません。

※長時間の防犯でご利用の場合は、シガー電源ではなく別途常時給電できるようにすることをお勧めします。市販のUSBバッテリーや常時電源供給ケーブル(別売り)等をご利用ください。

②**エンジンをかける**

エンジンをかけると駐車監視モードが終了し、カメラの電源が一旦OFFになります。

その後、自動で再び電源が ON になり動画撮影モードに切り替わります。

●エコ監視

使用するには常時電源供給ケーブル(別売り)が必要です。

DC アダプター給電の場合、使用できません、ご注意ください。使用してしまうとドライブレコーダーの内蔵バッテリーで給電するので、数十分で電池切れになってしまい、作動しなくなります。ご注意ください。

① エンジンを切る

電源が切れる際【電源オフ/駐車監視/エコ監視/取消】と表示されるので【エコ監視】をタッチしてください。エコ監視がオレンジ色になります。

そのままエコ監視で録画し続けます。



エコ監視は1 秒に1フレームずつ撮影する方式により映像ファイルのサイズを小さくすることで、従来の駐車録画保存方式に比べて省電力で長く録画映像を記録できます。10 分間の録画映像を約 20 秒間の映像に短縮して再生します。

②エンジンをかける

エンジンをかけるとエコ監視が終了し、カメラの電源が一旦 OFF になります。その後、自動で再び電源が ON になり動画撮影モードに切り替わります。

録画・撮影した映像の確認

●ドライブレコーダー本体で確認する



このマークの3番をタッチしてください。

①録画を停止後ファイルの再生画面を開きます。

本体で録画・撮影したデータを確認するには録画停止中に画面下の写真マークをタッチしてください。



①1番上 ドライブレコーダー本体で録画したデータの確認

②真ん中 バックカメラで撮影したデータの確認

③1番下 静止画の確認

A、ファイルの再生

再生したいファイルを選びタッチすると再生されます。

・動画・静止画再生中に右下のモード変更ボタンを押すとカメラモードの変更を行います。

通常再生時はワイドアングルになっていますが球面モード、フロント&バックモードマルチウィンドウモードに切り替えると画面をスワイプすることで360°角度を変更して再生ができます。

B、ファイルの削除

ファイルを約 2 秒長押しするとファイルを削除することもできます。

●PCで録画ファイルの確認

パソコンのシステム条件：

- ・プロセッサ：Intel core i5 以降
- ・メモリー：4GB 以上
- ・オペレーティングシステム：WINDOWS7 以降（64ビット推奨）

DirectX9.0 以降/MICROSOFT Explorer7.0 以降

※再生ソフトのバージョンやパソコンの OS などにより表示や機能が異なる場合があります。

※再生ソフトの動作またはソフトインストールによるパソコンの不具合などについて保証いたしかねます。コピーやインストールはご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。

①パソコンにカードを読み込む

撮影したデータをパソコンで見るには、microSD カードを本体から抜きカードリーダー(別売)などでパソコンに読み込ませます。

- ・Windows7 以下の場合

スタートボタン→コンピューターをクリックします。

- ・Windows8 の場合

アプリ一覧→PC をクリックします。

「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。

リムーバブルディスク内【video】に撮影したデータが保存されています。

- ・thumbnail…サムネイル画像保存用フォルダ
- ・A…動画保存用フォルダ
- ・B…バックカメラ録画データ保存用フォルダ
- ・Pic…静止画保存用フォルダ
- ・SOS…ロックされたデータの保存フォルダ

②ソフトのインストール(無償)

撮影されたデータを正しく再生するためには、ソフトが必要になります。

ドライブレコーダーで撮影をすると SD カード内に自動的に再生用のソフトが保存されます。

1 リムーバブルディスクに保存されている【VeSeeGo_setup.exe】をダブルクリックします。

2 「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか」と表示されたら「はい」を選びます。

3 インストール画面が表示されますので「NEXT」をクリックします。

4 ソフトのインストール先を聞かれますので、画面に表示されている場所以外にインストールする場合は、「change」をクリックして、保存先を選択し「NEXT」をクリックします。

5 「NEXT」→「NEXT」をクリックするとインストールが始まります。

6 「finish」をクリックするとインストールは終了します。デスクトップに【VeSeeGo】のショートカットアイコンができています。以上でソフトのインストールは終了です。

② アップデートの確認

デスクトップにある【VeSeeGo】のショートカットアイコンをダブルクリックすると【VeSeeGO】が起動します。起動するとまずソフトのアップデートの確認が始まります。

ダウンロードを行いますので最後に「finish」ボタンが表示されたらボタンをクリックしてアップデートを終了します。

※起動した際にウイルスセキュリティソフト(ウイルスバスター等)が警告を出す場合があります。使用を許可した上でご利用ください。

●VeSeeGoの使い方

①Play Listの下にある+をクリックして、動画をリストに加えていきます。

②リストから動画を選択後、再生ボタンを押します。

③撮影データは球面モードになっています、画面下の「2画面」「4画面」「ワイド」をクリックすると画面が変わります。カメラの向きをクリックすると、下、上、正面など、カメラの方向が変わります。マウスをドラッグして、画面を動かすことも可能です。

●画角の変更について

画角の変更について

「Select File」をクリックしてデータを読み込みます。マウスを動かして画面上の○を動かしサイズを変更して読み込みたい範囲を設定します。

「Save」を押すとその状態が保存され、移行設定した範囲のみ再生されるようになります。

●サイズ変更(出力)について

サイズ変更(出力)について

「Add」をクリックしてデータを読み込みます。カメラ方向やカメラモードを変更し出力したい画面を選択します。また画面を直接ドラッグして方向を決めることも可能です。

画面が決定したら出力先を「Browse」で決め、出力サイズを選択し、最後に、「Start」を押すと出力作業が始まります。

●よくある質問

1、日付がリセットされます。

- ドライブレコーダー本体がきちんと充電出来ていません。
シガー電源がきちんと差し込まれ赤いランプが点灯しているかを確認してください。

2、製品が稼働しない

- シガー電源の故障やバッテリーの電圧不足あるいはシステムのエラーが原因だと考えられます。
シガーソケットの接続を差しなおし、本体の裏にあるリセットボタンを数回短く押し、初期充電してドライブレコーダーを再起動してください。

3、エンジンを切ったときすぐに電源がオフになる。

- シガー電源が故障していないかをチェックし故障していない場合は液晶画面をOFFにした状態でシガーの電源で本体の充電を行ってください。

4、エンジンを入れたときすぐに電源がオフになる。

- SDカードを抜いていただきSDカードがない状態でドライブレコーダーの電源を入れます。正常に映る場合はSDカードの不良の可能性があります。
- シガーソケット電源が故障していないか確認してください。

5、録画がコマ送りのような状況、ファイル破損して再生できない。

- SDカードの読み取り速度が遅い可能性があります。CLASS10のマイクロSDカードをご利用ください。
- マイクロSDカードの不良。
- 再生するソフトやパソコンを再確認してください。

6、再生時に音が出ない

- 本体設定がミュートになっていないかを確認してください。もしくはボリューム設定の確認をしてください。

7、上書き保存を設定しているのに上書き保存されていない

- 保護されているファイルがいっぱいになっているため不要な保護ファイルを削除してください。あるいはSDカードをフォーマットしてください。

8、SDカードを挿入したのにSDカードを挿入してくださいと表示される

- マイクロSDカードを差し直した場合は反応するまで30秒ほど時間かかることがあります。
30秒ほどをたっても反応しない場合は一度SDカードをフォーマットしてみてください。あるいは別のマイクロSDカードを試してみてください。

9、走行中画面を消したい。

- スクリーンセーバーを設定してください。設定した時間が経過すると自動的に画面が消えます。
- 手動で電源ボタンを軽く押すと画面が消えます。

10、本品を使用すると従来使用しているカーナビのテレビ（地デジ）が視聴出来たのにワンセグしか視聴出来なくなってしまいました。（ラジオの電波が悪くなるなど）

- 本製品は作動時のノイズの影響により車内の各電子機器が誤作動を起こすことがあります。対処方法として以下の方法をお試しください。
 - ・受信アンテナの向きまたは場所をかえます。
 - ・当製品と受信機の距離を離してください。（40センチ以上）距離を離すことで干渉する場所を確定してみます。
 - ・ノイズをカットするフェライトコア・電磁波ノイズ防止シートの使用をおすすめします。（当社では販売はしておりません）家電量販店・ネットなどでの購入をお願い致します。
- 尚、対策を講じても確実にノイズを防止できるものではありません。
※車両によっては、同条件でもノイズの影響うけないことがあります。

11、SDカード容量不足のような表示が出ました。

- フォーマットを行ってください。フォーマットをおこなうことによってSDカードのデータが削除されます。
- 下記の設定内容は上書きされないロック付きのファイルとして保存されるので一度見直してください。
 - A、駐車監視モード
 - B、Gセンサー

12、エンジンをかけると電源が入りますが、すぐに電源がおちてしまいます。

- SDカードが壊れた可能性があります。一度別のSDカードにてお試しください。
- 充電コードの接続がしっかりとされていない可能性があります。

13、タッチパネルが操作できない

- 全くできない システムエラーの可能性ががあります。1度リセットボタンを押し再起動してみてください。
- 1部タッチできない 液晶画面のサイズが小さいので、タッチ位置がずれている可能性があります。少し位置を変えてタッチしてみてください。
- 指が乾燥している可能性があります。

●製品の主な仕様

カメラ(イメージセンサー)	200万画素
バックカメラ	92万画素 or 200万画素
記録動画解像度	1440×1440 24FPS
動画ファイル形式	MP4
音声記録	有り (ON・OFF 選択可能)
静止画解像度	1440×1440
静止画ファイル形式	JPEG
画面サイズ	3インチタッチパネルスクリーン
記録媒体	マイクロSDカード 8GB～32GB(Class10)
バッテリー	スーパーキャパシタ
外部電源	ミニUSB、DC5V
動作温度	-20～+60℃
本体サイズ	87×90×35mm(ブラケット部分を除く)

保証書

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。保証規約をよくお読みください。

保証期間:お買い上げ日より6ヶ月

商品名:360度カメラ付き高画質ドライブレコーダー Car-076 Car-077

お客様情報:

氏名: 連絡先:

住所:

ご購入日: 年 月 日

販売店情報:

店名: ⑩

住所:

連絡先:

押印のない場合は、購入日のわかるものをご提示ください。

<保証規約>

この製品はお買い上げから半年以内に不具合が発見された場合は修理対応致します。損傷が保証範囲を超えていると判断した場合は修理の際に費用を請求することがあります。修理範囲は以下の通りです。

●すべての修理は当社で行います。機械を分解しないでください。

●事故による破損が認められる。

●保証の範囲内であれば、修理は無料で行います。

・保証による対応は、該当商品の修理、および交換にかかる費用になります。

・初期不良等があった場合は商品到着後 1 週間以内に当社宛あるいは販売店にご連絡をお願いいたします。

・初期不良期間を経過しているものに関しましては、往復送料はお客様負担となりますのでご了承ください。

●送り状あるいはお買い上げ明細書などご購入日がわかる書類を大切に保管してください。

●保証期間内に人為的でない破損があった場合は、無料で修理致します。

●保証期間が過ぎた場合は、修理費用がかかります。

●販売店に事前連絡なく商品を返送する、返送途中で商品が紛失、故障した場合は、保証対象外となります。

●保証の除外事項

1、本製品の説明書に記載されている使用方法及び取扱方法、注意事項に反した使用方法

2、お買い上げ後、運送、落下、損傷などによる不適切な取り扱い。

3、お買い上げ後のお客様による分解、修理、改造。

4、天災（水災、水害含む）など不測の天変地異などの結果生じた事故、損害。

5、消耗品の修理、交換費用。

6、本保証書およびご購入証明書類のご呈示がない場合。

●本製品の使用および不具合の発生によって、二次的発生した損害、損失などにつきまして、弊社では一切責任を負いません。

●本製品に装着することにより他の製品、機器に生じた事故。損傷について、弊社では本製品以外について修理費用などは一切保障いたしません。

●お客様及び第三者の故意また過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。

●本保証書は日本国内においてのみ有効です。